

千歳市市民協働推進会議議事録(公開)

会議名	市民協働推進会議(第9期 第10回)		
日時	令和6年5月21日(火) 18:30~19:40	場所	市役所2階庁議室
出席者	委員:7人 事務局:企画課長、地方創生推進係長及び係員		

議題	選考審査 ①楽器演奏と朗読による読書会・・・ひと・まちづくり助成事業 ②ちとせ未来アカデミア・・・ひと・まちづくり助成事業
決定事項	・①の事業は附帯意見なしで採択。 ・②の事業は附帯意見あり。

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

会議要旨

～選考会～

① 楽器演奏と朗読による読書会・・・ひと・まちづくり助成事業

- ・プレゼンテーション実施団体(5分)・・・読書会・RBC 山田 律子氏
- ・読書の大切さ、楽しさなどを、年齢に関係なく多くの市民に知ってもらい、読書に親しむ方を増やし、市民の読書文化の醸成を目指す。市内でさまざまな文化活動に携わる人をゆるやかにつなぐことを目的とする。大人が読書する姿勢を見せ、子どもたちの本のある生活を充実させる。
- ・質疑(10分)

◎委員～イベント3回目に予定されている「読書のひろば」ではどういった講師を招くのか。

■実施団体;未定。詩、推理小説、時代劇など興味のあるジャンルごとに代表になる方を市民から募り、その人を中心にグループを作ってそれぞれ語る構想となっている。活躍している方を招くことも大事だが、市民の中から選ぶことが大切だと考える。

◎委員～採択されれば2年目の事業となるが、昨年1年活動してみて本好き同士の繋がりは見えてきたか。

■実施団体;見えてきている。ただし、好きなジャンルが共通している人同士の繋がりは増えたが、そこからさらに広がっていく様子はなかったため、今年は間口を広げて人をゆるやかに繋ぐことが狙いである。

- ・担当課、実施団体退出
- ・採点・集計
- ・集計結果発表
 - ・採択

●附帯意見 なし

② ちとせ未来アカデミア・・・ひと・まちづくり助成事業

・プレゼンテーション実施団体(5分)・・・ちとせ未来アカデミアコンソーシアム代表 富樫 昭大氏 他1名

・3ヶ年事業で、1年ごとに参加者を募る。小中学生世代を対象に、実際の体験を交えながら7回に渡る地域課題解決型の教育を実施し、小中学生世代からの「まちづくり」参画と若年層ならではのアイデア創出による大人世代のまちづくりへの意識の触発を狙う。

・質疑(10分)

◎委員～参加する子どもの募集はどのように行うのか。また、小学4年～中学3年と対象年齢が幅広いが、その点はどうか考えているのか。

■実施団体；市の広報やまいふれを想定しており、その他協力してもらえそうな広報紙があれば声掛けを行う。また、教育委員会を通して小中学校への周知を行いたい。対象年齢についてはたしかに幅広いが、例えば小学生の意見に中学生が刺激を受けるといったような効果が期待できると見ている。

◎委員～講師に今回の事業のような経験や実績はあるか。また、千歳市独自の取り組み内容などは考えているか。

■実施団体；講師は実際に他市町村の商工会から依頼を受け、同じようなプログラムの実施経験がある。今回の事業では9月にグリーンベルトで開催されるアウトドアフェスティバルに参加し、そこでの体験に基づいてその後のプログラムを進めていくので、その点が千歳市ならではの取り組みになると考える。

◎委員～アウトドアフェスティバルでの体験以降のプログラムでは具体的に何をするのか。

■実施団体；販売体験を振り返り、分析や検証を重ねて、今回の販売で見つけた課題を克服するためのアイデアを発信したり、周りの人を巻き込んでいくための講義を実施する。最後には講義に参加した子どもたちの発表の場があるので、それを聞いた大人たちが子どもたちから刺激を貰ってまちづくりの輪が広がればと考えている。

・実施団体退出

・採点・集計

・集計結果発表

・採択

●附帯意見 現段階では未定の部分も多く事業内容の詳細が把握できないので、広報等で募集や周知を行う際には事業内容をわかりやすく発信すること。

～その他～

○令和5年度に完了した協働事業の評価について、今後も継続するものについては対面、終了となるものについては書面で評価を行う。

○前回会議で付帯意見反映を条件に採択とした Wellness City Chitose について、課題となっていた安全面等に配慮した収支予算書が提出されたので採択とする。

以上